

## 見守り 新鮮情報

義父が**突然亡くなり**、病院から**すぐに**遺体を引き取るように言われ、電話帳に広告を出している葬儀社へ連絡した。遺体を運んでもらうとそのまま葬儀プランについて話し合った。「**家族葬**でお願いした

い」と伝えたが、**一般葬**を強く勧められ、最後は**精神的な疲れ**もあり、**根負け**して**約150万円**の契約をした。葬儀は終わったが、**お金がなく費用を支払うことが出来ない**。

(60歳代 女性)



# 葬儀の料金トラブルに 気をつけて

## ひとこと助言

事前に  
情報収集を!



見守るくん

- 葬儀は突然必要になる上、身近な人との死別の悲しみにより、冷静に対応することが難しい状況にあります。また、葬儀で提供されるサービスは種類も複雑であるため、業者との打ち合わせは親族などと複数で行うことが大切です。
- 見積書の請求に応じ、丁寧な説明をしてくれる葬儀会社を選びましょう。葬儀会社に予算や希望をはっきりと伝え、納得できるまで相談や打ち合わせを行います。特に、参列者の人数によって増減する項目には注意が必要です。
- もしものときに慌てることのないように、可能であれば、生前に家族と相談し、葬儀について情報収集しておけば、冷静に対応できます。
- 困ったときには、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください(消費者ホットライン188)。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第245号 (2016年2月9日) 発行：独立行政法人国民生活センター

お気軽にご相談ください!

八代市消費生活センター 電話：33-4162

(八代市役所 1階市民相談室内)